

あわくら 歴史街道

清水山 天徳寺
(往普天台宗)

天徳寺は大字長尾、野井張山の裾屋敷という所にあります。昔は現在の寺域より北東方向の山裾に立てられていたので、今も地名として小田奥、和田など多く残っています。

宗派は真言宗醍醐派で本尊は不動明王です。

この寺の開基は山岳仏教修験者「の小角」と伝えられています。その後高徳の僧「智証大師」が一山七ヶ寺を建立されて、天台宗の寺として栄えていましたが、天正年間(1573～1591)尾子晴久の軍が当地方に攻め入った時、陣屋として使用した後焼き払った為廃絶してしまいました。

宝暦年間に清徳の僧正慶という人が入り、清水山天徳寺三光院として再建されました。往昔の寺院規模は失われたものの法脈を受継がれ、寺域内の一堂宇を護って(現在の本堂)小田豊前守(宝暦年間栗倉神社神官)家代々の後裔によって法灯が継続されてきました。

昭和37年世襲された小田智海法師により、真言宗醍醐派に改宗し、毎年秋の取入れの終わった11月20日頃、野井張山に設けられた護摩壇で、盛大に護摩供養が行われてきましたが、昭和50年小田智海法師の他界以降は後継者がなく惜しくも法灯は絶えることになりました。

寺号の由来は、西長尾の滝の奥に小滝があって、この流水の清らかな所から清水山を、天徳年間(957～960)に高徳の僧により再建されたので年号より天徳寺と呼ぶようになったと伝えられています。

この滝の付近の平地に祠があって、天慶4年3月(941)不動明王を表すカーンという種字を刻んだ不動石が、昭和40年頃はあったが、今は移転されて現地からは姿を消しています。昔は此処で修験の人が滝水に打たれながら修行された姿が彷彿として偲ばれます。

次号は天徳寺の護摩供模様、文化財(写経、仏像、古墳墓について)



◀写真は天徳寺本堂の全景

人の動き 平成16年12月1日現在

●人口 1,739人(+1) ●12月中の移動
男 820人(+1) 出生 0人 死亡 1人
女 919人(±0) 転入 4人 転出 2人
●世帯数 549戸(+2)

お幸せ多い人生を

村上 直久 さん(美作町)
(國里)美由紀さん(別 府)

お誕生日おめでとう

小松 建斗 ちゃん 引 谷 1月13日生まれ
お父さん 隆 人 さん
お母さん 光 子 さん

お悔やみ申し上げます

野田 紀子 さん 塩 谷 1月 8日(45歳)
宮崎くまよ さん 大 茅 1月 8日(90歳)
清水しづこ さん 知 社 1月21日(88歳)
青木ふみよ さん 中土居 1月26日(89歳)
田中 照代 さん 別 府 1月26日(41歳)
建元シズ子 さん 茂 津 1月31日(95歳)

善意の窓 (村社会福祉協議会から) 平成16年11月16日～12月10日

おめでとうございます

別 府 國里 村男 様 長男康典様 結婚内祝

お大事にしてください

別 府 春名 嘉平 様 本人 退院内祝
別 府 青木すぎ柔 様 本人 退院内祝
坂 根 太田 雅之 様 本人 退院内祝

ご冥福をお祈りします

下土居 山下 健一 様 亡妻のり柔様香典返し
塩 谷 野田 正行 様 亡妻紀子様香典返し

福祉活動に

大原町 本田 和美 様 退職お礼

今月の村税

国民健康保険税(第9期)

納期限: 2月28日

納期限にご注意いただき、納付をお願いいたします。また、口座振替の場合は残高確認など、よろしく願いいたします。
お問い合わせ先: 西栗倉村役場住民税務課